



フレンチブルドッグは、ここ10年〜15年近く安定的に人気のある犬種です。そして、いろいろな犬種の中でも、価格が1、2番に高額だと思っています。大手のペットショップでは、平均価格になると40万〜50万円くらいかと思いますが、60万以上の子犬も普通にいますし、ときには70万〜80万、100万円を超える子犬もいたりします。

「なぜこんなに高額になるのか？」これは、僕自身もブリーダー直販の子犬販売サイトを15年運営していますが、よくされる質問です。僕のところはさすがに60万以上はありませんが、ここ数年の子犬平均価格は、やはり40万〜50万円くらいではないでしょうか。では、なぜこんなに高額になるのかというと、フレンチブルドッグはブリーダーング、出産、子育てなど、すべての工程が他の犬種に比べて手間とコストがかかるからなのです。そのことを僕自身の経験や、お付き合いさせていただいているブリーダーさんたちの例でお答えしたいと思います。フレンチブルドッグのスタンダードを求め、ドッグショーで活躍する良質な子犬を求め、ブリーダーングをしている優良ブリーダーのお話です。



まず、自分の犬舎で交配したい女の子にヒート（生理）がきます。自身の犬舎にチャンピオン犬などの種オスになる男の子を所有していれば良いですが、そうでない場合は外交配（他の犬舎のチャンピオン犬などと交配）になります。仮に自身の犬舎に

ブリーダーング最前線

優良ブリーダーを知ることは、フレンチブルドッグを知ること。

ブリーダーと聞くと、みなさんは何を想像するのでしょうか。犬を交配させるプロフェッショナル？ もちろんそうですが、それだけではない深い世界がそこにはひろがっているのです。あなたの愛ブヒはどこからやってくるのか。知っておきましょう。「ZAIHOO」代表のはつんが、愛情たっぷりに語ってくれました。



良い交配犬がいたとしても、同じ交配の繰り返しでは、すぐ血液が重なりすぎて良いブリーダーングができなくなりますので、やはり外交配は必須です。とはいえ外交配も、近所に良い交配相手がいることはなかなかありません。全国各地に散らばっていますから、ブリーダーは交配のために長距離移動するのがあたりまえです。海外の有名犬の冷凍精子を輸入して交配するブリーダーさん、女の子を海外に空輸して交配してもらい、日本に戻すブリーダーさん……そんな方も普通にいます。交配代金はブリーダーによって違いますが、チャンピオン犬でしたら平均15万〜20万円、インターチャンピオンや外産輸入犬の有名血統などでしたら30万円も普通にあることです。



交配は通常、責任交配として2回までが基本です。もし1回目の交配で妊娠しなかったとしても、次のヒートでもう一度交配できます。それでもできなかった場合は交配代金が戻りません。もちろんその場合も、お互いのお付き合いの状況で線を決めてフォローするのが一般的です。交配自体も、一般の方は知らない場合が多いのですが、フレンチブルドッグは自然交配できません。厳密に言えばできないことはありませんが、普通はやりません。ですから、交配は基本的に人の手で人工授精になります。やり方は人それぞれですが、僕でしたら、自分の種オスの精子を袋に出し、人工授精用のシース管にシリッジを付けて精子を吸い取り、交配する女の子に注入します。

そう、特別な犬には特別な対応が必要だ。

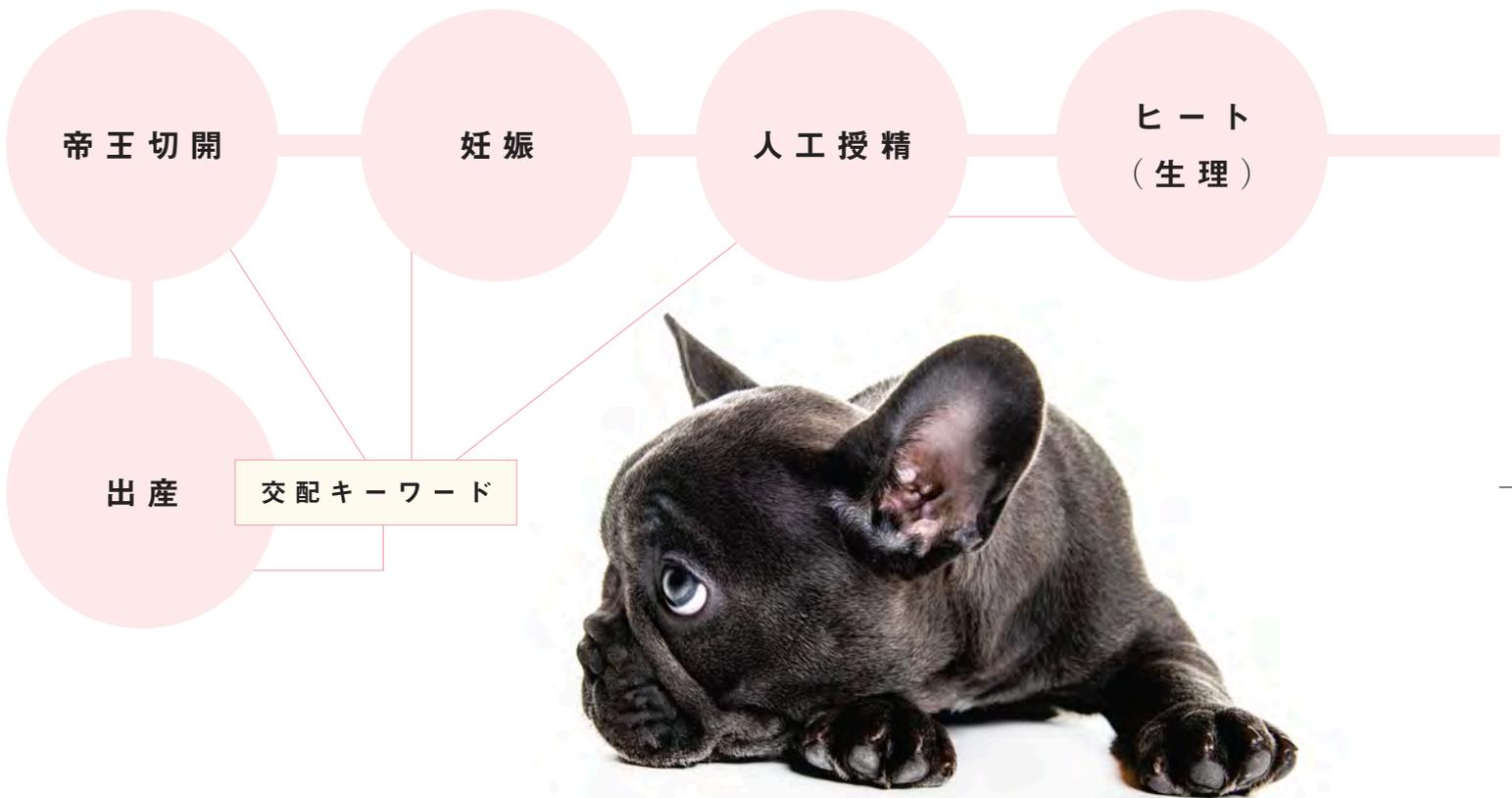
これも自身でできない場合は獣医さんを使うブリーダーもいます。少し戻りますが、人工受精ですから、交配する女の子のほうは、良い受精のタイミングを見極めるために、ホルモン検査で病院に何度か通います。しかしこれも、その都度安い金額ではありません。



そうして無事に交配ができて、実際に妊娠する確率は、平均すると60〜70パーセント

くらいではないでしょうか。そしてこれ知らない方が多いかもしれませんが、無事に妊娠した場合も、フレンチブルドッグは自然分娩できませんので、病院での帝王切開になります。自然分娩させると、子犬の頭が大きくて、出てくるときに詰まってしまう可能性が高いからです。

帝王切開での動物病院の費用ですが、僕の経験で5〜6万くらい、これが平均より少し安いくらいだと思います。地域差も大きく、東京ですと20万以上も普通です。そして出産を無事終えたとしても、帝王切開なので母乳が出るタイミングがズれる場合が多く、母乳が出るまでの間はブリーダーが3時間おきに人工哺乳を続けます。僕も初めての子育てのときの、この3時間おきの哺乳を3日間続けたことがいちはん辛かった思い出です。5頭産まれて、初心者の僕がおっかなびっくり1頭ずついねいに哺乳して、5頭終わるころには次の哺乳の時間が近いので、寝る時間がなくてフラフラでした。哺乳だけならいいですが、母犬の母乳が出ないうちも、出るようにするた



めに子犬をおっぱいに付けなければなりません。母犬の初乳には子犬に必要な免疫があります。もちろん経験は積めば慣れますし、カテーテルを上手に使えるようになれば楽にはなりますが、それでもこの工程は多くのブリーダーが少なからず苦労しています。

そこからの子育ての手間ひまは割愛しますが、フレンチブルドッグは、けっして子育てが簡単な犬種ではありません。そもそも産まれる頭数も多い犬種ではありません。そうして苦労して愛情をかけ、生後60日くらいにオーナーさまにお渡しするまで、母犬とブリーダーの手によって大事に管理され育てあげるので、少しでもわかりやすいように、平均ではありませんが具体的な金額も書いてみました。これが僕のお付き合いがある優良ブリーダーの、フレンチブルドッグが高額になる理由です。



それでは、平均すると同じく40万〜50万円くらいで、60万以上の子も普通にいるペットショップの子犬も同じことでしょうか？

ペットショップの大半は、全国にあるオークション会場（犬の競り市場）から仕入れます。このオークション会場に子犬を持ち込むブリーダーには、乱繁殖を繰り返すブリーダーが混ざります。乱繁殖ブリーダーとは、「人気があつて高く売れる子犬を作る」ことを一番に考えるブリーダーです。高く売れる犬種、高く売れる毛色、高く売れる小ぶりの子犬、を作る目的で乱繁殖をくり返します。そんなブリーダーは、高く

売れる犬種を、さらにコストをかけずに作りたいわけですね。血統の良し悪しなんて気にしません。もちろん犬種のスタンダードなんてどうでもいいこと。省ける手間はすべて省いて、コストをかけずに、優良なブリーダーと同じ金額かそれ以上で子犬を販売したいわけです。

そうしてできた子犬は、本来は親兄弟と大切な社会化期を過ごさなければならぬ大事な時期に、月齢が低いまま親兄弟から離されて、ペットショップのショーケースに並べられます。それが子犬にとって、迎える飼い主にとってどんなリスクがあるか、少し調べればわかることです。さらにショーケースに並べる際は、その犬質に対し見合わない高額を付け、「高額＝良質な子犬」と勘違いさせる商法も今や定番です。勘違いするかどうか、子犬の質に対して高額だろうが、満足するかどうかは購入者の判断ですから、特に何も言いません。



もちろん、ペットショップで子犬を購入することを全否定はしません。ペットショップによっては仕入れ担当の方に信念があり、犬の良し悪しを判断できる目をもっている、オークション会場ではなくブリーダーから直接仕入れているショップでしたら良い子犬もいます。ただ、正直そんなペットショップは一握りなのが現状です。ふらふらと行ったペットショップで可愛いフレンチブルドッグと目が合って、運命を感じ購入してしまう。それが一般的なのもわかりません。子犬に罪はなく、優良ブリーダーでも

乱繁殖ブリーダーでも、子犬はすべて可愛いというのが、この連鎖が終わらない理由なのもわかりません。



フレンチブルドッグはこの先も安定的に人気犬種として高額が続くことでしょう。しかし、本気で良い犬を作ろうとして向き合っているブリーダーは儲かるものではありません。フレンチブルドッグの優良ブリーダーは、本当にフレンチブルドッグが好きでないと続けていけない商売だと思います。

だからこそ、そんなブリーダーのもとで生まれた子犬は犬質が全然違います。頭の大きさが違います。顔の迫力が違います。骨量が変わります。体質が変わります。ボディバランスが変わります。目の輝きが変わります。もちろん、優良ブリーダーといっても全部が全部、良い子犬が産まれるわけではありません。生きものですから完璧なんてありえません。

それでも、同じ40万〜50万円の子犬を購入するならば、迎えた日から10年以上を毎日いっしょに暮らす子犬なら、ブリーディングに対して、フレンチブルドッグに対して、真面目に向かい合っているブリーダーから、迎えたくはありませんか？

フレンチブルドッグの優良ブリーダーは、本当にフレンチブルドッグが好きでないと続けていけない商売だと思います。

解説



羽田悠一郎（はつん）
フレンチブルドッグ専門
「ZAIHO（ザイホー）」代表

長年のパートナーとして「犬質」にこだわったフレンチブルドッグの子犬・若犬を紹介するフレンチブルドッグ専門店の代表。自身のドッグショーやブリーディングの経験から知り合ったフレンチブルドッグ専門のショーブリーダーと提携。自身の目で選んだ「良質な子犬」を紹介することにこだわりをもつ。



そう、特別な犬には特別な対応が必要だ。